

令和5年度 第3回三浦半島地区保健医療福祉推進会議

開催日時：令和6年1月31日（水）19時00分～20時50分

開催方法：オンライン

（事務局）

定刻となりましたので、三浦半島地区保健医療福祉推進会議をはじめさせていただきます。

本日はお忙しいところ、ご出席いただきありがとうございます。

私は、鎌倉保健福祉事務所 企画調整課長の小笠原でございます。

本日の会議は、ウェブでの開催となります。通信環境などの影響を最小限にするため、マイク音声はミュートにてお願いします。なお、発言される際にはお名前を発言いただき、会長から指名された後ご発言いただくようお願いします。また、発言後ミュートに戻していただくようお願いします。

次に、本日もご欠席のご連絡をいただいております委員ですが、横須賀市歯科医師会長の半澤委員となっております。

続きまして、本日の配布資料ですが、次第記載のとおりでございます。

それでは、推進会議設置運営要綱第7条第1項により、本日の議事の進行を三屋会長にお願いいたします。

（三屋会長）

皆さんこんばんは。大変だったコロナもおさまっておらず、なかなか沈没している先生方もいらっしゃるようですが、Webでかけて、何かでできますので、よろしくお願いいたします。

それでは、初めに会議の公開についてですが、この会議は原則公開とし、非公開とすべき情報を扱う場合には議題により一部非公開とさせていただきます。本日、協議事項1つ目の病床事前協議については公開すると、病院に不利益を及ぼす恐れがある内容を扱うことから非公開とさせていただきます。

また本日の会議の開催については事前にホームページの公開しておりますが、Webでの開催のため、傍聴については中止させていただいております。

会議録につきましてはこれまで通り発言された委員の名を記載の上、発言の概要を記載し、公表させていただきますので、よろしいでしょうか。

（了承）

（三屋会長）

議題に入る前に皆様にお諮りいたします。本日会議の1（1）令和5年度病床事前協議についてですが、本日出席の湘南鎌倉総合病院小林委員におかれましては、事前協議申請の関

係者と認められていることから、本議題については、ご退席いただくことで、議事を進めていきたいと思いますがよろしいでしょうか。

(了承)

(三屋会長)

では次に進めていきたいと思います。次に、議題の2、第8次保健医療計画案について事務局から説明をお願いいたします。

<「第8次保健医療計画案について」医療課説明>

(三屋会長)

ありがとうございました。ただいまの説明について何かご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。第8次計画も横三地区は変わらないということになりますね。よければ次に3に入らせていただきます。

(三屋会長)

3の第8次医療計画における基準病床数の検討について、事務局から説明をお願いいたします。

<「第8次医療計画における基準病床数の検討について」医療課説明>

(三屋会長)

ありがとうございました。

事務局から第8次保健医療計画における基準病床数について説明がございましたが、資料の最後22番のまとめですが、記載の協議事項①②については本日の会議で結論を出す必要がございます。意見が割れてしまった場合には多数決になると思いますけれども。それからまた資料の22協議事項については、本日の会議で意見交換として行います。それではまず、協議事項①の基準病床数の算定について示された4パターンの内、どのパターンを選択するかについて、委員の皆様のご意見を伺いたいと思います。

何か意見がありましたら、挙手をお願いします。ないですかね。

はいどうぞ、山口先生。

(山口委員)

他地域である2とパターン3が、結構違っているところもあるのですがけれども、このエリアではパターン2とパターン3がほとんど同じで、どちらでもいいかなぐらいに見えるのですね。この辺りはどうなのでしょう。どうしてこう違っているのかなど。なんですかね。

(市川医療課長)

医療課市川です。パターン2とパターンの3の違いということでもよろしいですか。7ページにあります通り、基準病床数の算定パターンとして病床利用率をどっちで置いているか、ということの違いが根っこです。ここは数字のあやみたいところがあって、たまたま病床利用率自体が比較的近い数字になっているので、結果数字が近いということはあるのかと思います。例えば病床利用率と平均在院日数の関係性が、たまたま計算の結果として、近い数字になっているということが要素でございます。

(三屋会長)

他にご意見等ございますか。特にご意見などありますか。ないですね。  
では長堀先生お願いします。

(長堀委員)

このところは、さっきの病床が申請に対して足りないということなので、本当はパターン4がいいのかなと、個人的には思うのですが。あと270を公募するのもどうかなと思うので。パターン3.5みたいながあるとありがたいなと思いました。以上です。

(三屋会長)

ありがとうございました。3.4ぐらいです。はい。他には。

大体、パターン3という方が多い印象を持っております。一番妥当なところかなと私的には思うのですが、多数決をとる必要ありますか。なければ、パターン3でいきたいと思いますが、はい。それではこの会議ではパターン3を採用するということで、決めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(了承)

(三屋会長)

それでは事務局は本日の協議結果をもとに、今後の手続きを進めてください。

続いて協議事項②の整備目標病床数について、採用するかどうかということですが、資料の20スライドでございますが、どうでしょうか。整備目標病床数を設定しないということではいかがでしょうか。

これは問題ないと思うのでこれは事務局の原案通り、意見の取りまとめを行いたいと思いますが、皆様、整備目標病床数を設定しないということにしたいと思います。

(了承)

(三屋会長)

それでは事務局は、意見を取りまとめについてよろしく願いいたします。

続いて協議事項③、運用上の工夫について、委員の皆様のご意見ございましたらよろしく願いいたします。

(三屋会長)

小松先生ですか、はい。

(小松委員)

神奈川県医師会の小松です。おそらくこの会議を始めて、もうずっと出ているのは多分長堀先生と沼田先生と小澤先生と私ぐらいになってきちゃったのかなと、医師関係では。

実は、横三地域の場合は非稼働病床がずっと多いというところがあって、非稼働病床がこれだけあっても回っているという考え方と、非稼働病床があるから、なかなか出すところがないという、長堀先生のやっぱり肌感覚、その辺を含めると、非稼働についてはコロナ前に少し検討した時期があったのですが、そのあと検討が途絶えているというところがあるので、やっぱりそのあたりを地域として考えていくということが、大事なことなのかなというふうに思います。

非稼働のものが、5年以上も続いているとなると、結局そこを頑張って動かすのが正しいのか、場合によっては新しく動かせるところが、動かすのがいいのかというのは地域の中で考えていくというか、向き合っていかなければいけない課題なのかなというふうに思いました。以上です。

(三屋会長)

ありがとうございました。休床休棟の方は、この辺りも詰めていかなければいけないなど私も思っております。他には、ご意見、工夫についてはこれからの工夫ですね、ついてあれば、何なりとおっしゃってください。はい。小澤先生お願いします。

(小澤委員)

三浦小澤ですけれども、他の地域のパターンの数字を見ると極端に少なかったりという状況なのです。そういうところから見ると横三地区の数字というのは非常に何かこう少ない範囲で収まっていたので、よかったなとは思いますが、ただ、結局、数字のマジックかなという気がすごくするんです。そういうところで病床利用率、平均在院日数を少しいじると、こういうふうに変動してくる、というようなところで動いてきているというところがあるのです。逆に言うとこれからは、病床数もそれに合わせて、増床するのか削減するのかという話よりも基本的には、受け皿となる中小の病院だと思のですが、その機能をより強化していかなければ、回らなくなるということなのだと思うのです。

そこでこの病床数を多くする少なくするというよりも、地域に密着した中小病院の機能を強化することが、この病床数云々という以上に、地域の医療需要に対応し得る方法かなと思うのです。だから、病床数の議論も大事ですけれども、それ以上に中小病院の機能を、いか

に強化していくか、そのためには、医療人材をいかにそちらの方にも、中小病院にも見合う医療人材というの育成していかなきゃいけないということに、注力しないとなかなか対応しきれないのではないかなという気がしています。

(三屋会長)

ありがとうございました。他にはご意見ございますでしょうか。  
長堀先生、お願いします。

(長堀委員)

ありがとうございます。今の小澤先生、それから小松先生のご意見も最もだと思います。今ずっとやっているのは、数の話で質の話をしていないのですよね、機能の話。

だから、同じ10床でもどの程度回転率がいいとか、回復率を高めるかという、そういう議論はずっとしていないのです、実は。何か小澤先生が言われたように、同じ150床でも、いかに有効に機能させるか、そこのところは、大事なことだと思います。

その意味では、小松先生おっしゃられた休棟、動いてない病床は何とかしなきゃいけないというのは全くその通りで、あと低稼働病床も何とかして欲しいなと思っています。もうあまりベッドの数が、病院のパワーを表す時代じゃなくなっているというところで、ちょっと、考え方を変えていくのが必要かなと思っています。以上です。

(三屋会長)

ありがとうございました。他にご意見ございますでしょうか。ご提案とかでもありましたら。はい、山口先生お願いします。

(山口委員)

休眠病床があるということは、ほとんどの場合はその看護師を中心とした、その人材不足ということだと思うのです。それで、このエリアですと看護学校は横須賀に2校でしたっけ。いや3つある。最近増えているとかそういうことはあるのですか。

(三屋会長)

そうでもない。

(山口委員)

なるほど。いや、何年ぐらいですかね。10年だから、以前よりは、全部でちょっと増えたぐらい。鎌倉も湘南鎌倉医療大学ができて、まだこの春卒業生が出るぐらいだと思うのですけれども、でもその方々が育ってきて、実際労働市場にこう出てくるといって、まだ5年10年かかる。でもそれが起こらない限りは、人が増えてこない限りはなかなかその休棟・休眠病床、減らないと思うのですね。県の方の看護学校も多分あるかと思うのですけれども。定員を例えば学生さんを増やしていただいて、これも効いてくるのに時間がかかると思うのです。

けれども、人材をもうちょっと確保できるようにしていただくことは可能なのでしょうか。

(市川医療課長)

医療課長市川です。定員の部分に関しては、全体的に労働者人口が全体的に減ってきている中で、ご承知の通り医師の定員も含めて全体的に減ってきている。だから、定員を上げたとしても、そこに入学してくれる人たちを確保するのに各看護学校も結構ものすごく今苦労しているというような状況も聞いています。

もちろん必要なことの対策は、考えていかなければいけないと思うのですが、その辺りの供給というか需要というか、そういったところのバランスを見ながらやっていかなければいけないと思うので、劇的にそこが進むかどうかというのは難しいところもあるかと思いますが、取り組んでいかなければいけない課題だとは認識しています。

(小澤委員)

確か神奈川県は、日本で一番人口比当たりの看護師数が少ないです。日本の中で一番、やっぱり三浦半島の地域だけの問題ではなくて、都市圏が全部そのような状況みたいですがけれども、それは本当に考えていかないと、こういう方がどうしても中央に集まってしまうので、ぜひ進めていただきたいと思います。

(三屋会長)

ありがとうございます。他になければ、三松先生お願いします。

(三松委員)

私伺っているのは、今後10年人口が減っても、医療需要は増加して行って、それに必要な看護師が、年間5,000人必要、増やしていかなければいけないのに対して、神奈川県の養成所の募集人数が、そもそも3,000人しかなく、しかも年間に300人ずつ授業についていけないだとか、或いは実習が厳しいだとか言って辞めていくというのを伺っています。看護大学みたいなものができても、なかなか神奈川県にそのままいるというよりは、もっとその他市県に行ってしまうようなことを伺っているのですけれど。それでデータ数的には正しいのでしょうか、現状としては。そのように認識しているのですが、どうでしょう。

(市川医療課長)

医療課長の市川ですが、県外からの学生が多いということでよろしかったでしょうか。聞き取りにくかったので確認です。

(三松委員)

5,000人ずつ増やしていかなければならないところで、定員自体が3,000人だと。しかも300人ずつドロップアウトしてというのを伺って、それで教師なり、生徒を集めるために補助事業が必要なところ、逆にこれから少子化で学生が増えないだろうということで、補助が

打ち切られていく方向だというふうに僕はいろいろな会議に出て認識しているのですが、それで正しいのでしょうか。

(市川医療課長)

医療課長市川です。詳細な資料を持っていないので確実にお答えすることはできないのですが、方向性としてのご認識は間違っていないと思います。

(三松委員)

ありがとうございます。

(三屋会長)

はい。話が各看護学校の範囲になってしまうとちょっと話がずれてきてしまうので、取り戻して。他にご意見がなければそろそろまとめたいと思いますが、今まで何人か出ましたようですけれど、事務局としてはそれぞれの意見を吸い上げてですね、記載をお願いいたします。

(三屋会長)

次、4ですね。経営強化プランについて事務局から説明をお願いいたします。

<「公立病院の経営強化プランの策定について」医療課説明>

(三屋会長)

ありがとうございました。ただいまの説明について、何かご意見ご質問等ございましたらよろしく願います。ないですかね。

それでは次に5番の地域医療構想の進め方について、事務局から説明をお願いいたします。

<「地域医療構想の進め方について」医療課説明>

(三屋会長)

ただいまの説明について何かご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

ないですかね。小松先生どうぞ。

(小松委員)

これ県の方に教えていただきたいのですが、本当にコロナのときは湘南鎌倉総合病院さんに神奈川県すべての地域が大変お世話になって、それで、その病床が今、いわゆる平時に近づいてきている中で、こういう運用していくということが、この配分だとかそういう解釈について、県としても了解をしているというか、よろしいのではないかということだと思うので、それはそれで了解なのかなというふうに思いながら今お話聞いていたのですが。

ここで議題にするべきかどうかわからないですけど、先ほどの回復期の話題というのがこのプランには反映されていないので、そのタイムスケジュール的に言うと、先ほどのことも本当は盛り込んでいないと、このプランには書いていないけど手挙げはしているということになるので。やっぱり病床公募のタイミングだとか、その辺と2025プランとの整合性というのはあったほうがいいのかと思います。先ほどそういう話題が出ている一方でここには回復期とも一言も書いていないし、増床希望とも一言も書いていないので、それはおそらく時系列がずれているのだと思いますけれど、今日、増床の話をしている以上はちょっと違和感があるなと思いますながら伺っていました。

今後の次年度以降に反映させていくということになるのかと思いますけれど、病床募集のタイミングと、この2025プランの変更等についてというのは、今後整理をしていただきたいなというふうに思います。

あと、すいません長くなって恐縮ですけど、もう1つはこういう病床配分のときの配分の、先ほどのパターン1、2ということ、本日参加されている先生方、多くの方は今日、いきなり見せてもらって、どう判断するというのは非常に難しいものもあつたと思います。逆に言うとその配分を決めるということは、非常に決める判断をする委員の方の責任も重たいものですので、決め方等については、その決める会というか、決めるプロセスというものをきちんと整備しておいた方が、特に複数の行政を跨ぐところについては、やっぱり必要なのかなと思います。

ここで提案することではないかもしれませんが、今後のその病床配分についてはきちんとした、そのどちらかというオープンというよりはクローズな会議で検討していただいて、その結論を調整会議、この会議に話題にさせていただいてそれを皆で承認するという方が、よろしいのかなと思って発言しました。すいません長くなってしまい、以上です。

(三屋会長)

はい、ありがとうございます。はい、市川医療課長。

(市川医療課長)

医療課長の市川です。小松先生ありがとうございます。まず2025プランの方ですが、整合が取れてなかった点に関しては、大変申しわけありません。この点については、今後注意いたします。次に後段でご提案いただいた病床だとかの配分のときに前さばきとして、どういう案を整理するのかということについてすべてをこの地域でいきますと、保健医療福祉推進会議で整理することになっておりますが、ご提案を踏まえまして他の政令市ではそういった会議体を持ってやっているようなケースもございますので、そういったことを参考にして今後考えさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

(三屋会長)

それでは次にうつらせていただきます。6番、紹介受診重点医療機関の公表について事務局から説明をお願いいたします。



<「紹介受診重点医療機関の公表について」医療課説明>

(三屋会長)

丁寧なご説明ありがとうございました。何かご意見ご質問がありましたら、短くお願いします。

なければ次に移らせていただきます。7番、国検討会における議論及び本県における令和6年度以降の議論の方向性案について、事務局から説明を簡略にお願いします。

<「国検討会における議論及び本県における令和6年度以降の議論の方向性案について」医療課説明>

(三屋会長)

時間押していますので質疑を飛ばさせていただきます。

次、報告事項になります。1番令和5年度第2回地域医療構想調整会議結果概要について事務局から簡単に説明をお願いします。

<「令和5年度第2回地域医療構想調整会議結果概要について」医療課説明>

(三屋会長)

ありがとうございます。

次が、最後ですね。最後、その他何か事務局からございますでしょうか。

(事務局)

事務局からでございます。本日の資料の1-2でございますけれども、回収をさせていただきますので、現地でご参加の委員につきましては机上に置いていただきまして、Web参加の委員につきましては、お送りさせていただきました返信用の封筒にて事務局まで返送いただきますようお願いいたします。

今年度の会議は本日で最後となります。来年度の会議の予定につきましては4月以降に整理をさせていただきます。以上でございます。

(三屋会長)

ありがとうございました。本日は円滑な議事進行とはいきませんでしたけれども、皆さんご協力いただきましてありがとうございます。

今後とも、地域医療構想の推進に向け、ご協力をお願いいたします。それでは、進行役を事務局へお戻しいたします。

(事務局)

三屋会長どうもありがとうございました。以上をもちまして第3回推進会議を閉会いたします。お疲れ様でした。